

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ブル3倍日本株 ポートフォリオV	追加型投信／国内／株式／ 特殊型（ブル・ベア型）
	ベア2倍日本株 ポートフォリオV	
	ブルベア・マネー・ ポートフォリオV	追加型投信／国内／債券
信託期間	3年間（2018年6月29日～2021年6月28日）	
運用方針	ブル3倍日本株 ポートフォリオV	日々の基準価額の値動きがわ が国の株式市場の値動きの3 倍程度となることをめざして 運用を行ないます。
	ベア2倍日本株 ポートフォリオV	日々の基準価額の値動きがわ が国の株式市場の値動きの2 倍程度逆となることをめざし て運用を行ないます。
	ブルベア・マネー・ ポートフォリオV	主としてわが国の債券への投 資により、利息収入の確保を めざして運用を行ないます。
主要投資 対象	ブル3倍日本株 ポートフォリオV	わが国の株価指数先物取引、 わが国の債券およびダイワ・ マネー・マザーファンドの受 益証券
	ベア2倍日本株 ポートフォリオV	わが国の株価指数先物取引、 わが国の債券およびダイワ・ マネー・マザーファンドの受 益証券
	ブルベア・マネー・ ポートフォリオV	イ、ダイワ・マネー・マザー ファンドの受益証券 ロ、本邦通貨表示の債券
組入制限	ブル3倍日本株 ポートフォリオV	・マザーファンドおよび株式組 入上限比率は無制限
	ベア2倍日本株 ポートフォリオV	
	ブルベア・マネー・ ポートフォリオV	・マザーファンド組入上限比 率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産 総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買 益（評価益を含みます。）等とし、原則とし て、配当等収益等を中心に分配します。た だし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配 を行わないことがあります。	

ダイワ・ブルベア・ファンドV

ブル3倍日本株ポートフォリオV

ベア2倍日本株ポートフォリオV

ブルベア・マネー・ポートフォリオV

運用報告書(全体版)

第1期

(決算日 2019年6月28日)

(作成対象期間 2018年6月29日～2019年6月28日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

さて、「ダイワ・ブルベア・ファンドV」は、
このたび、第1期の決算を行ないました。

ここに、当作成期の運用状況をご報告申し
上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<4646>

<4647>

<4645>

ブル3倍日本株ポートフォリオV

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			日 経 平 均 株 価		株 式 先物比率	公 社 債 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
1 期末 (2019年 6 月28日)	円 8,225	円 0	% △ 17.8	円 21,275.92	% △ 4.5	% 298.9	% —	百万円 67,216

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

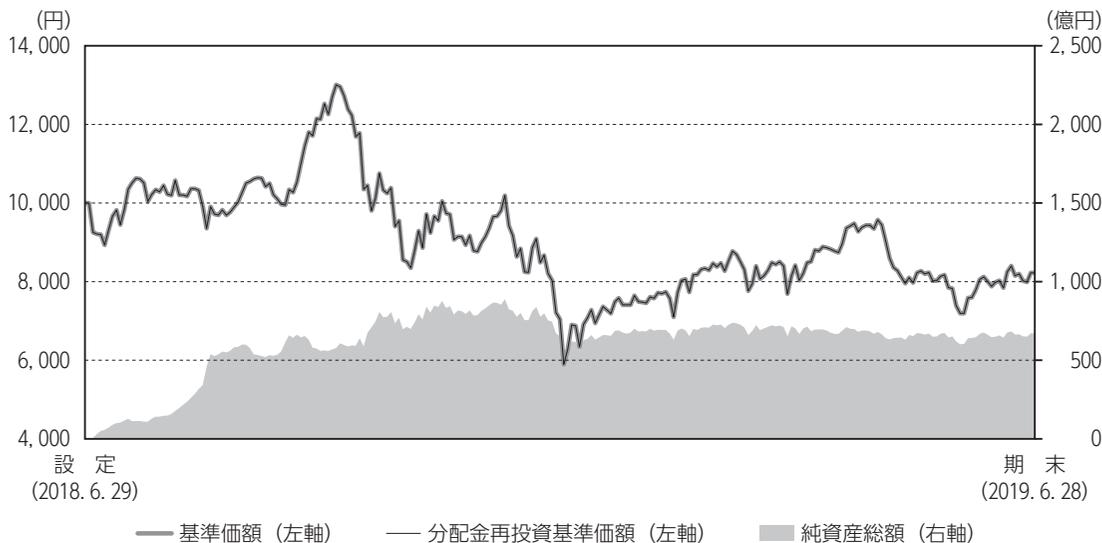
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります(分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：8,225円(分配金0円)

騰落率：△17.8%(分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの3倍程度となることをめざして運用を行った結果、米中通商協議の動向などを受けてわが国の株式市場が下落したため、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブルベア・ファンドV ブル3倍日本株ポートフォリオV

年 月 日	基 準 価 額		日 経 平 均 株 価		株 式 先物比率	公 社 債 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2018年6月29日	円	%	(6/28) 円	%	%	%
	10,000	—	22,270.39	—	—	—
6月末	9,999	△ 0.0	22,304.51	0.2	300.9	—
7月末	10,195	2.0	22,553.72	1.3	325.9	—
8月末	10,628	6.3	22,865.15	2.7	302.4	—
9月末	12,706	27.1	24,120.04	8.3	298.1	—
10月末	9,292	△ 7.1	21,920.46	△ 1.6	301.8	—
11月末	9,807	△ 1.9	22,351.06	0.4	300.5	—
12月末	6,876	△ 31.2	20,014.77	△ 10.1	297.7	—
2019年1月末	7,608	△ 23.9	20,773.49	△ 6.7	296.8	—
2月末	8,272	△ 17.3	21,385.16	△ 4.0	299.8	—
3月末	8,205	△ 18.0	21,205.81	△ 4.8	295.2	—
4月末	9,444	△ 5.6	22,258.73	△ 0.1	300.9	—
5月末	7,389	△ 26.1	20,601.19	△ 7.5	300.0	—
(期末)2019年6月28日	8,225	△ 17.8	21,275.92	△ 4.5	298.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 6. 29 ~ 2019. 6. 28)

国内株式市況

国内株式市況は下落しました。

国内株式市況は、当作成期首より、米国の保護主義的な政策への警戒感が強い一方、堅調な景気や企業業績が評価される局面があったこと、また通商問題でも一部で妥協点を探る動きなどがあったことから、横ばい圏で推移しました。2018年9月半ばからは、米中通商協議に関していったん悪材料は出尽くしたとの見方が広がったことや為替市場で円安が進行したことなどが評価され、株価は上昇しました。10月には、米国の長期金利が上昇したことに対する懸念や、国内外の決算発表において一部の分野で事業環境の悪化が見られたことが嫌気され、株価は下落しました。11月は、株価急落からの自律反発や米中首脳会談において米中通商協議に何らかの進展が見られるとの期待により株価が上昇したものの、12月に入ると、中国経済の減速懸念や利上げの停止に言及しなかったFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などが嫌気され、下落しました。しかし2019年1月には、FRB議長が一転して引き締め方向にある金融政策の軟化を示唆したことが好感されたほか、2月に開催された米中閣僚級協議などにより通商協議の進展期待が再び高まり、株価は反発しました。上昇一服後は一進一退で推移したものの、5月に入り米国が中国製品への関税率の引き上げや対象範囲の拡大方針を発表したこと、また中国の通信機器大手に対する取引制限措置を実施したことなどにより不透明感が高まり、株価は下落しました。下落一巡後は、通商問題の不透明感が残るものの、米国や欧州の中央銀行高官が金融緩和の可能性を示唆したことが好感されたこともあり、株価は横ばい圏で推移しました。

ポートフォリオについて

(2018. 6. 29 ~ 2019. 6. 28)

当ファンド

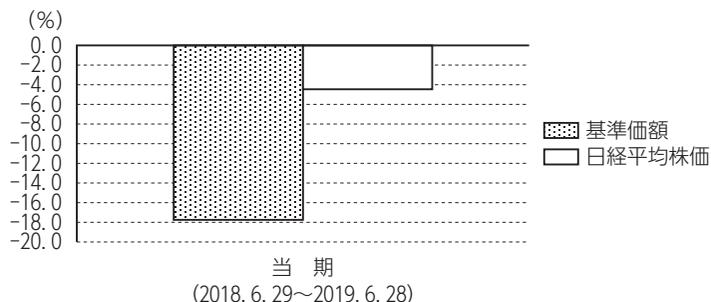
わが国の株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、純資産総額の3倍程度となるよう調整しました。また、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券への投資も行いました。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳 (1万口当たり)

項目	当 期	
	2018年6月29日 ～2019年6月28日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	—	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するとともに、わが国の株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として信託財産の純資産総額の3倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの3倍程度となることをめざして運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 6. 29~2019. 6. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	91円	1.004%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,032円です。
(投 信 会 社)	(29)	(0.324)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(59)	(0.648)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.032)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	10	0.108	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(10)	(0.108)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.006)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	101	1.121	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	74,215,817	75,564,000	43,103,836	43,880,000

(注) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

銘 柄 別			買 建		売 建		当 期 末 評 価 額	
			新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額	買 建 額	売 建 額
国 内 株 式	日経平均	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
		1,410,894	1,196,743	—	—	200,928	—	1,618

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式先物取引	1,410,894	917,068	65.0	1,196,743	807,089	67.4
コール・ローン	6,069,484	—	—	—	—	—

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	1,030	350	34.0	—	—	—
コール・ローン	18,011,149	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	241,999	—	—	241,999	—	—

平均保有割合36.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	65,200千円
うち利害関係人への支払額 (B)	43,127千円
(B) / (A)	66.1%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	31,111,980	31,659,551

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年6月28日現在

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネー・マザーファンド	31,659,551	45.3
コール・ローン等、その他	38,155,512	54.7
投資信託財産総額	69,815,063	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年6月28日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	68,158,821,668円
コール・ローン等	30,242,757,196
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	31,659,551,212
未収入金	1,624,928,360
差入委託証拠金	4,631,584,900
(B) 負債	942,339,481
未払解約金	604,944,642
未払信託報酬	336,249,330
その他未払費用	1,145,509
(C) 純資産総額 (A - B)	67,216,482,187
元本	81,717,605,820
次期繰越損益金	△ 14,501,123,633
(D) 受益権総口数	81,717,605,820口
1万円当り基準価額 (C / D)	8,225円

* 期首における元本額は400,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は311,683,499,110円、同解約元本額は230,365,893,290円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,225円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は14,501,123,633円です。

■損益の状況

当期 自 2018年6月29日 至 2019年6月28日

項目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,913,680円
受取利息	11,460,700
支払利息	△ 18,374,380
(B) 有価証券売買損益	△ 11,579,489
売買益	9,532,100
売買損	△ 21,111,589
(C) 先物取引等損益	△ 2,803,493,501
取引益	19,962,045,794
取引損	△ 22,765,539,295
(D) 信託報酬等	△ 617,196,140
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 3,439,182,810
(F) 追加信託差損益金	△ 11,061,940,823
(配当等相当額)	(△ 15,045,517)
(売買損益相当額)	(△ 11,046,895,306)
(G) 合計 (E + F)	△ 14,501,123,633
次期繰越損益金 (G)	△ 14,501,123,633
追加信託差損益金	△ 11,061,940,823
(配当等相当額)	(△ 15,045,517)
(売買損益相当額)	(△ 11,046,895,306)
繰越損益金	△ 3,439,182,810

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	0
(h) 受益権総口数	81,717,605,820口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

■スイッチングの対象とするファンドの除外について

スイッチングの対象とするファンドから「ブルベア・マネー・ポートフォリオⅣ」、「ブル3倍日本株ポートフォリオⅣ」および「ベア2倍日本株ポートフォリオⅣ」を除外しました。

ベア2倍日本株ポートフォリオV

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			日経平均株価		株式先物比率	公社債組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
1期末(2019年6月28日)	円 9,310	円 0	% △ 6.9	円 21,275.92	% △ 4.5	% △ 200.2	% —	百万円 5,150

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：9,310円（分配金0円）

騰落率：△6.9%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの2倍程度逆となるような運用を行いました。米中通商協議の動向などを受けてわが国の株式市場が下落したことは基準価額の上昇要因となりましたが、わが国の株式市場が上昇・下落をしながら推移したため、結果として基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		日 経 平 均 株 価		株 式 先物比率	公 社 債 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2018年6月29日	円	%	(6/28) 円	%	%	%
	10,000	—	22,270.39	—	—	—
6月末	10,000	0.0	22,304.51	0.2	△ 200.6	—
7月末	9,744	△ 2.6	22,553.72	1.3	△ 218.3	—
8月末	9,389	△ 6.1	22,865.15	2.7	△ 190.7	—
9月末	8,261	△ 17.4	24,120.04	8.3	△ 202.9	—
10月末	9,849	△ 1.5	21,920.46	△ 1.6	△ 175.5	—
11月末	9,333	△ 6.7	22,351.06	0.4	△ 168.1	—
12月末	11,250	12.5	20,014.77	△ 10.1	△ 178.9	—
2019年1月末	10,348	3.5	20,773.49	△ 6.7	△ 217.7	—
2月末	9,661	△ 3.4	21,385.16	△ 4.0	△ 200.6	—
3月末	9,545	△ 4.6	21,205.81	△ 4.8	△ 221.1	—
4月末	8,647	△ 13.5	22,258.73	△ 0.1	△ 177.1	—
5月末	10,086	0.9	20,601.19	△ 7.5	△ 216.9	—
(期末)2019年6月28日	9,310	△ 6.9	21,275.92	△ 4.5	△ 200.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 6. 29 ~ 2019. 6. 28)

国内株式市況

国内株式市況は下落しました。

国内株式市況は、当作成期首より、米国の保護主義的な政策への警戒感が強い一方、堅調な景気や企業業績が評価される局面があったこと、また通商問題でも一部で妥協点を探る動きなどがあったことから、横ばい圏で推移しました。2018年9月半ばからは、米中通商協議に関していったん悪材料は出尽くしたとの見方が広がったことや為替市場で円安が進行したことなどが評価され、株価は上昇しました。10月には、米国の長期金利が上昇したことに対する懸念や、国内外の決算発表において一部の分野で事業環境の悪化が見られたことが嫌気され、株価は下落しました。11月は、株価急落からの自律反発や米中首脳会談において米中通商協議に何らかの進展が見られるとの期待により株価が上昇したものの、12月に入ると、中国経済の減速懸念や利上げの停止に言及しなかったF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などが嫌気され、下落しました。しかし2019年1月には、F R B議長が一転して引き締め方向にある金融政策の軟化を示唆したことが好感されたほか、2月に開催された米中閣僚級協議などにより通商協議の進展期待が再び高まり、株価は反発しました。上昇一服後は一進一退で推移したものの、5月に入り米国が中国製品への関税率の引き上げや対象範囲の拡大方針を発表したこと、また中国の通信機器大手に対する取引制限措置を実施したことなどにより不透明感が高まり、株価は下落しました。下落一巡後は、通商問題の不透明感が残るものの、米国や欧州の中央銀行高官が金融緩和の可能性を示唆したことが好感されたこともあり、株価は横ばい圏で推移しました。

ポートフォリオについて

(2018. 6. 29 ~ 2019. 6. 28)

当ファンド

わが国の株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が、純資産総額の2倍程度となるよう調整しました。また、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券への投資も行いました。

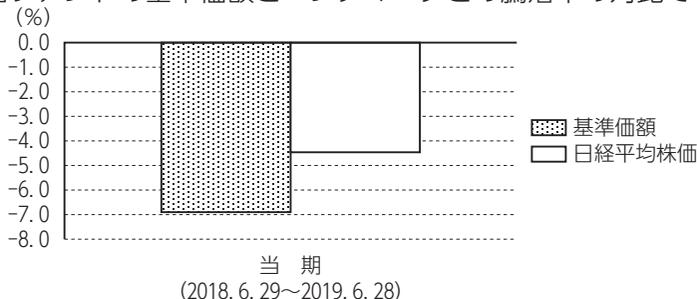
ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳 (1 万口当たり)

項 目	当 期	
	2018年 6月29日 ~2019年 6月28日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	—	

- (注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。
- (注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するとともに、わが国の株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が、原則として信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの2倍程度逆となることをめざして運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 6. 29~2019. 6. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	97円	1.004%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,705円です。
(投 信 会 社)	(31)	(0.324)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(63)	(0.648)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.032)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	11	0.114	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(11)	(0.114)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.011	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.006)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	110	1.129	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	15,804,072	16,090,000	12,710,464	12,940,000

(注) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

銘 柄 別			買 建		売 建		当 期 末 評 価 額		
			新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額	買 建 額	売 建 額	評価損益
国 内	株 式	日経平均	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
			—	—	109,971	99,817	—	10,311	△ 76

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	1,030	350	34.0	—	—	—
コール・ローン	18,011,149	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	241,999	—	—	241,999	—	—

平均保有割合3.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	3,093,608	3,148,055

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年6月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネー・マザーファンド	3,148,055	52.7
コール・ローン等、その他	2,824,096	47.3
投資信託財産総額	5,972,151	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年6月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,972,151,947円
コール・ローン等	2,428,202,404
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	3,148,055,543
差入委託証拠金	395,894,000
(B) 負債	821,660,442
未払金	76,775,900
未払解約金	718,272,419
未払信託報酬	26,469,898
その他未払費用	142,225
(C) 純資産総額 (A - B)	5,150,491,505
元本	5,532,345,581
次期繰越損益金	△ 381,854,076
(D) 受益権総口数	5,532,345,581口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,310円

* 期首における元本額は600,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は89,710,397,820円、同解約元本額は84,778,052,239円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,310円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は381,854,076円です。

■損益の状況

当期 自 2018年6月29日 至 2019年6月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 125,326円
受取利息	1,352,414
支払利息	△ 1,477,740
(B) 有価証券売買損益	△ 627,503
売買益	977,204
売買損	△ 1,604,707
(C) 先物取引等損益	△ 103,182,736
取引益	2,423,454,784
取引損	△ 2,526,637,520
(D) 信託報酬等	△ 44,128,874
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 148,064,439
(F) 追加信託差損益金	△ 233,789,637
(配当等相当額)	(△) 1,785,278
(売買損益相当額)	(△) 232,004,359
(G) 合計 (E + F)	△ 381,854,076
次期繰越損益金 (G)	△ 381,854,076
追加信託差損益金	△ 233,789,637
(配当等相当額)	(△) 1,785,278
(売買損益相当額)	(△) 232,004,359
繰越損益金	△ 148,064,439

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	0
(h) 受益権総口数	5,532,345,581口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

■スイッチングの対象とするファンドの除外について

スイッチングの対象とするファンドから「ブルベア・マネー・ポートフォリオⅣ」、「ブル3倍日本株ポートフォリオⅣ」および「ベア2倍日本株ポートフォリオⅣ」を除外しました。

ブルベア・マネー・ポートフォリオV

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分 金		期 騰 落 中 率		公 社 債 組 入 比 率	純資産総額
		円	円	%	%		
1 期末 (2019年 6 月28日)	9,992	0	△ 0.1	—	—	百万円 21,115	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

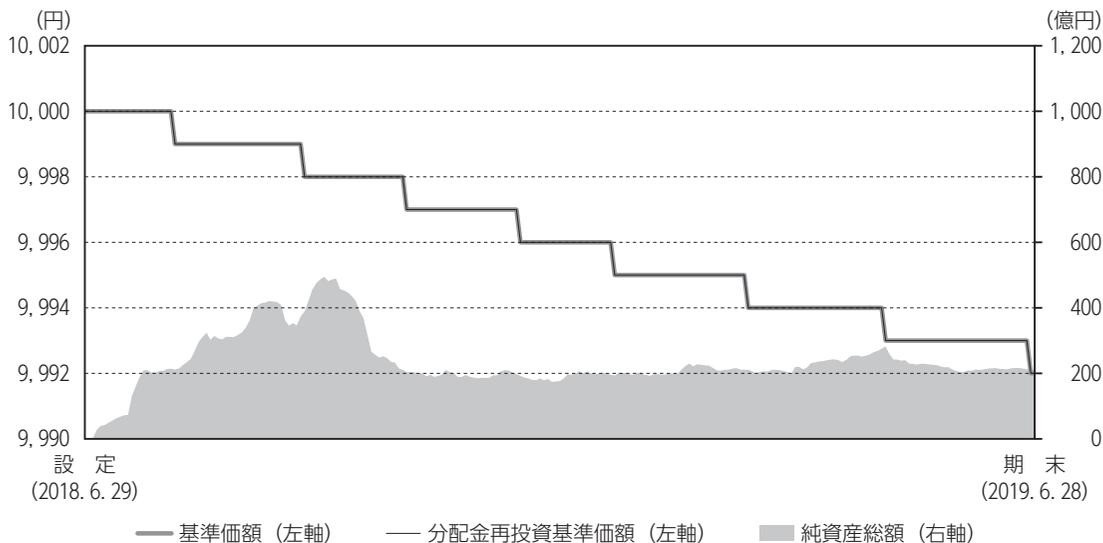
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは「ダイワ・ブルベア・ファンドV」を構成するファンドのスイッチング資金を一時滞留させる受け皿としての役割をもったファンドであり、わが国の債券を中心に安定運用を行います。そのため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：9,992円（分配金0円）

騰落率：△0.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ・ブルベア・ファンドV ブルベア・マネー・ポートフォリオV

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公社債組入比率
		騰 落 率		
(期首)2018年6月29日	円 10,000	%	—	% —
6月末	10,000	0.0		—
7月末	10,000	0.0		—
8月末	9,999	△ 0.0		—
9月末	9,998	△ 0.0		—
10月末	9,997	△ 0.0		—
11月末	9,997	△ 0.0		—
12月末	9,996	△ 0.0		—
2019年1月末	9,995	△ 0.1		—
2月末	9,995	△ 0.1		—
3月末	9,994	△ 0.1		—
4月末	9,994	△ 0.1		—
5月末	9,993	△ 0.1		—
(期末)2019年6月28日	9,992	△ 0.1		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 6. 29 ~ 2019. 6. 28)

国内短期金融市況

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が維持される中、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

(2018. 6. 29 ~ 2019. 6. 28)

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2018年6月29日 ～2019年6月28日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	5

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 6. 29~2019. 6. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	0円	0.000%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,996円です。
(投 信 会 社)	(0)	(0.000)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.000)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.008)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	1	0.008	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	92,510,261	94,191,736	71,817,450	73,116,262

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 1,030	百万円 350	% 34.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	18,011,149	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	241,999	—	—	241,999	—	—

平均保有割合28.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	20,692,811	21,057,004

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年6月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネー・マザーファンド	21,057,004	96.4
コール・ローン等、その他	783,361	3.6
投資信託財産総額	21,840,366	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年6月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	21,840,366,507円
コール・ローン等	783,361,727
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	21,057,004,780
(B) 負債	724,917,295
未払解約金	724,846,455
未払信託報酬	11,742
その他未払費用	59,098
(C) 純資産総額 (A - B)	21,115,449,212
元本	21,133,181,981
次期繰越損益金	△ 17,732,769
(D) 受益権総口数	21,133,181,981口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,992円

* 期首における元本額は1,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は228,488,602,849円、同解約元本額は207,356,420,868円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,992円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は17,732,769円です。

■損益の状況

当期 自 2018年6月29日 至 2019年6月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 112, 103円
受取利息	942, 124
支払利息	△ 1, 054, 227
(B) 有価証券売買損益	△ 3, 995, 310
売買益	6, 526, 033
売買損	△ 10, 521, 343
(C) 信託報酬等	△ 249, 325
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 4, 356, 738
(E) 追加信託差損益金	△ 13, 376, 031
(配当等相当額)	(△ 3, 507, 934)
(売買損益相当額)	(△ 9, 868, 097)
(F) 合計 (D + E)	△ 17, 732, 769
次期繰越損益金 (F)	△ 17, 732, 769
追加信託差損益金	△ 13, 376, 031
(配当等相当額)	(△ 3, 507, 934)
(売買損益相当額)	(△ 9, 868, 097)
分配準備積立金	11, 122, 412
繰越損益金	△ 15, 479, 150

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	11, 122, 412
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	11, 122, 412
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	11, 122, 412
(h) 受益権総口数	21, 133, 181, 981口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

■スイッチングの対象とするファンドの除外について

スイッチングの対象とするファンドから「ブルベア・マネー・ポートフォリオⅣ」、「ブル3倍日本株ポートフォリオⅣ」および「ベア2倍日本株ポートフォリオⅣ」を除外しました。

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・ブルベア・ファンドV）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年6月28日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を27ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年6月29日から2019年6月28日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年6月28日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（63,506,420千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2019年6月28日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,998	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

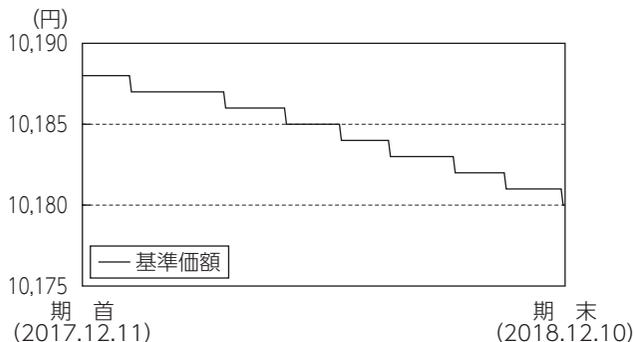
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	-	-
12月末	10,188	0.0	-
2018年1月1月末	10,187	△0.0	-
2月末	10,187	△0.0	0.5
3月末	10,186	△0.0	-
4月末	10,186	△0.0	-
5月末	10,185	△0.0	-
6月末	10,184	△0.0	-
7月末	10,184	△0.0	-
8月末	10,183	△0.0	-
9月末	10,182	△0.1	-
10月末	10,181	△0.1	-
11月末	10,181	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	890,004	(890,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 ()

- (注1) 金額は受渡し代金。
- (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	80,270,040	100.0
投資信託財産総額	80,270,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	80,270,040,211円	
コール・ローン等	79,270,042,938	
現先取引(その他有価証券)	999,997,273	
(B) 負債	241,522,286	
未払解約金	240,343,000	
その他未払費用	1,179,286	
(C) 純資産総額(A - B)	80,028,517,925	
元本	78,610,288,449	
次期繰越損益金	1,418,229,476	
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,180円	

* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF E グローバル・バリュ- (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワF E グローバル・バリュ- (為替ヘッジなし) 98,069円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ "R I C I"*

コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード53,768,983円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド -ハジメの歩- 327,110,605円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドクラブ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト- 9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 13,743,005,794円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 18,757,636,566円、プル3倍日本株ポートフォリオV 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 1,364,716,363円、ダイワF E グローバル・バリュ-株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 米ドルコース285,029円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 日本円コース144,570円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、D Cスマート・アロケーション・Dガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。